

あいさつ

桜の花びらが舞う校庭をみなさんとの別れを惜しみながら眺めています。4年間勤めた白金小学校を去る日がきました。

白金小学校は日本一の学校であり、愛で溢れる学校であります。さらに歴史と伝統を大切にしながらも常に先進的な取組を推進している学校です。

また、白金小学校の子供たちは本当に素晴らしく最高の子供たちです。何事にも全力で取り組む姿や思いやりの心、誠実さなどよさがたくさんあります。その中でも私が一番好きなのは子供たちの素敵な笑顔です。この笑顔は今の世の中を癒し、幸せにすることができます。この笑顔がずっと続くように、子供も大人も一生懸命に前向きに生きていきましょう。

さて、先日の卒業式でも話しましたが、みなさんは「オリンピックの精神」って知っていますか。そのオリンピックの精神には、「スポーツを通して心身を向上させ、さらには文化や言語・国籍・人種など様々な違いを超え、平和でよりよい世界の実現する」とあります。

これは、みなさんがこれから生きる未来の理想の姿であるのではないのでしょうか。この素敵な世界を創り上げていくのがみなさんの役割です。これからもみなさんが白金小学校で多くのことを学び、その役割を担う人になることを期待しています。

そして、今以上に立派になったみなさんにまた会えることを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様、これまでのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。白金小学校はこれからも子供たちの健全な成長のために全力を尽くしてまいります。学校を信じていただくとともに、ご理解ご協力いただくことお願い申し上げます。

私は、令和五年度からは港区教育委員会の学校教育部長として、白金小学校での教育活動を生かし、港区の教育のために邁進してまいります。今後とも一層のご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

白金小学校がこれまで以上に発展し、「地球上で最高の学校」になることをお祈りし、最後の挨拶といたします。

令和5年3月31日

港区立白金小学校 校長 吉野達雄